

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 1 9 日 更新

事務事業名		安全衛生委員会運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	岩田 建一
	施 策	2	行政改革の推進			所属課	総務課	担当者名	田島 明美
	施策の柱	4	職員の人材育成と効果的な組織運営			所属班	人事班	(内線)	1224
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (P L A N)

【事業の内容】	衛生管理者及び安全衛生推進者を選任し、職員の健康障害を防止するための対策や労働災害の原因及び再発防止対策など、安全衛生に関することを調査し審議する。旧町では委員会が開催されていたので、平成21年度から開催した。
【業務の流れ】	【委員会の組織】委員数 17人以内 (1) 安全衛生管理責任者及び市長が指名した課長(2) 衛生管理者及び安全衛生推進者(3) 職員の中から市長が指名した者 委員への委嘱、会議開催
【主な予算費目】	予算措置なし
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (D O , P L A N)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
職員の安全衛生に関することの調査		委員会の開催	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 委員会会議数	回	予算措置なし	
⇒ イ: 参加委員数	人		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
委員会委員		⇒ ア	
		⇒ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進する。		⇒ ア 計画通り開催された割合	%
		⇒ イ	
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア	回	1	1	4	1	4	4	4	4
	イ	人	12	13	68	13	68	68	68	68
② 対象指標	ア									
	イ									
③ 成果指標	ア	%	25	25	100	25	100	100	100	100
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円							
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	0	5	0	0	0
		延べ業務時間	時間	105	110	0	110	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計		千円	0	435	0	433	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	435	0	433	0	0	0

事務事業名	安全衛生委員会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 職員の安全衛生や職場環境改善のため協議できる重要な組織であることから年4回開催を目標としているが、委員への負担が重くなるため、年1回の開催となっている。
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 委員会のあり方を検討し、次年度は委員会の開催頻度を増やす予定である。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 安全衛生委員会からの環境改善提案等により、快適な職場環境がつけられる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はない
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費無し
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 安全な職場環境づくり（庁舎の整備等）を行うことで、住民サービスが向上される。委員は市の代表者で構成する予定であるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

年1回の委員会で成果は出ているが、今後、開催頻度を増やすことで、更なる安全衛生の確保や職場環境の改善を目指し、住民サービスの向上につなげたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）			(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										